



橋北中学校だより

令和7年1月31日(金)
第10号 文責:奥田
津市立橋北中学校

新年度につなげる3学期に

令和7年、2025年も1ヶ月が過ぎようとしています。始業式ではこの3学期をこれまでの授業や取組を通して深めてきたつながりを大切にしながら、学年のまとめとして、そして次の学年につなげられるような学期にして欲しいと話しました。この1ヶ月を振り返りどうでしたか。これまではずっと続いていくように感じていた日々かも知れませんが、一緒に過ごしてきた学級の仲間との日々も残り2ヶ月となりました。特に3年生にとっては学年の仲間との時間も限られたものとなってきました。仲間を大切に過ごしていきましょう。



百人一首大会

1年生、2年生では百人一首大会が行われました。これがこの学年として最後の行事になるかもしれません。みんなが頭を寄せ合って1枚の札を探す様子はとてもいい雰囲気、まさしく仲間との距離が縮まったことを実感する場面でもありました。数年前にはこうした当たり前のこともできない状況が続いていました。今、あらためて当たり前のように行うことができる学校生活を楽しみ、大切にしたいと思えます。



百人一首大会では慣れた手つきで上の句を読み終えるまでにさっと札をとる人がいたり、ひたすら目の前の札をとろうと集中する人がいたり、普段の様子からはうかがえない達人がいたりとずいぶん盛り上がっていました。橋北中学校の冬の恒例行事です。また来年、このひと時を楽しみましょう。3年生ではこれまで行っていなかったのですが、昨年「3年生になってもやりたい」という声がたくさん聞かれ、少し早く12月に大会を開催しました。



入学試験が始まりました

始業式でもお話ししましたが、3年生にとってこの3学期は進路と卒業を意識した日々になります。1月に入り、いよいよ私立を中心とした入学試験が本格的に始まりました。1月25日(土)、26日(日)には鈴鹿高校、高田高校の入学試験が行われ、のべ280人近くが試験に臨みました。多くの方々にとって初めての体験でしょう。どれだけ勉強しても不安はなかなか無くなるものではありませんし、家で一人机に向かっているとなおさらです。学校で友だちといるときが一番ほっとできる時期であるかもしれません。きっとみんな同じ思いで日々をすごしていることでしょう。何度も耳にしていると思いますが受験は団体戦です。学級で、友だち同士で励まし合い、時には刺激を受け、みんなで高まって行って欲しいです。春からの新しい生活に向け、今、できることを落ち着いて着実に実行していきましょう。



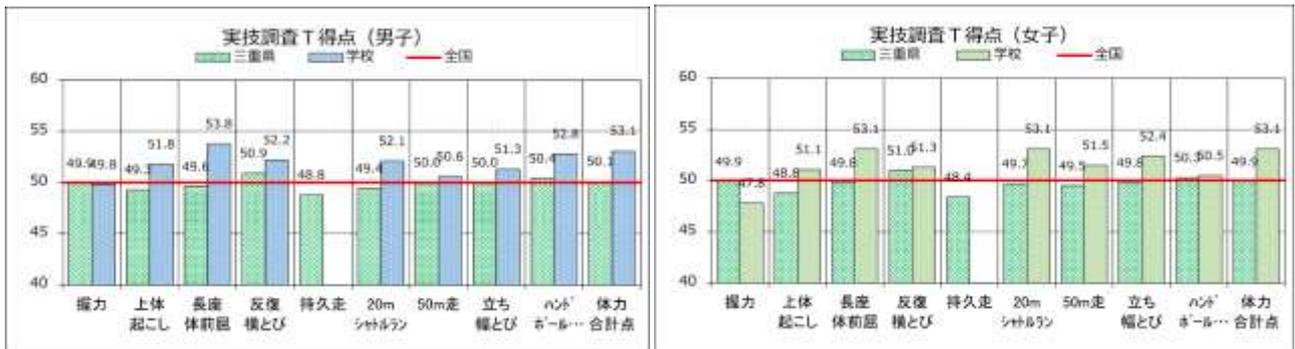
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

今年度の調査結果が発表されました。体力について、中学男子はコロナ前の水準に、中学女子は令和5年度調査と比較し、横ばいにあると報告されています。「運動やスポーツをすることが好き」という運動意識については、中学校男女とも増加し、男子では過去最高になったとのことです。生活習慣においては、睡眠不足は改善傾向がみられるものの、朝食を「食べない日が多い」、「食べない」生徒やスクリーンタイムは増加傾向にあり、調和のとれた規則正しい生活の大切さを理解することが求められています。

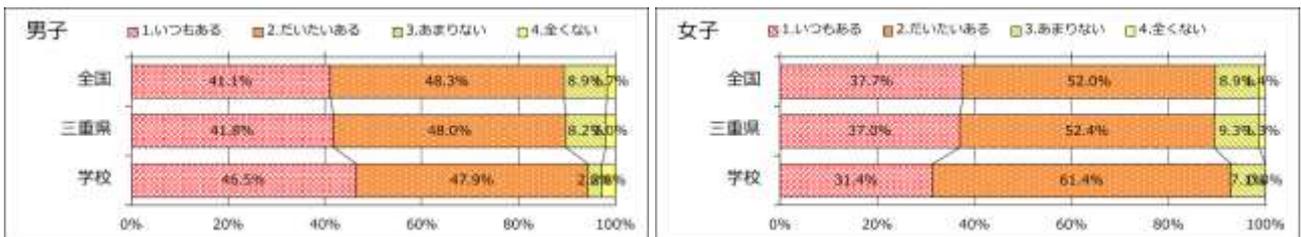
下のグラフは全国平均を50とした本校2年生の体力の結果です。全国、県より上回るものもあれば、ほぼ同じ、下回るものもあります。生活習慣については、全国、県の値より良好な傾向にありますが、決して安心できるものではありません。

保健体育の授業について、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがありますかという質問に対して、肯定的な回答が全国、県平均を男女とも上回っています。これはすべての授業において分からないこと、できないことを大切にしながら学び合う授業を進めている成果だと思っています。今後、保健体育科を中心に調査結果等を分析し、運動のみならず生徒の活動全般について見直ししながら、学校全体での指導に活用していきたいと考えています。ご家庭におきましても、ご協力、ご指導お願いいたします。

全国平均を50とした体力の結果



保健体育の授業で友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがありますか



大谷踏切が開通しました。12月28日に長い期間工事のために閉鎖されていた大谷踏切が4年2か月ぶりに開通しました。車道が2車線になり、歩道も整備され、ずいぶんきれいに、便利に生まれ変わりました。すでにここを通過して登下校している人もいることでしょう。あらためて、次のことに留意して利用してください。

自転車で利用する人は歩道を通行してください。ただし、坂の入り口に案内がかかっていますが、自転車は降りて通行してください。歩道は急な坂ですし、特に高架に差し掛かる部分は歩行者がいても見えません。みなさん自身はもちろんですが、歩行者との事故にもつながらないように、約束は守ってください。

また、大谷踏切から国道にかけての道路を横断するみなさん。これまで以上に車の通行量は増えました。時間帯によっては車が渋滞して手前の交差点までつながっていることもあります。車の接近がないか、確実に止まってくれるかを確認して、道路を横断してください。「止まってくれるだろう」という判断はしないでください。